

是等の法令の實行を見たことは一たびもなかつた。

グンヤクココンツウカイ 軍役古今通解

六卷。享保二年有澤武貞著。内容は軍役本源、賀州軍役考・賀州軍役通計・賀州軍役實制・人數道具小割・軍役大小當務等の諸項に別たれしる。

三年有澤武貞著。知行當り人馬數、徒以下人夫之圖り、無息人親兄同陣に可出圖り等、戰時の準備に對する私案である。

グンヨウセンコウズカイ 軍容撰功圖解

一冊。有澤武貞の著。戰闘上の儀禮・戰具の配列等を圖解したもので、寶永四年の著である。

グンヨウセンコウズカイ 軍容撰功圖解

一冊。有澤武貞の著。戰闘上の儀禮・戰具の配列等を圖解したもので、寶永四年の著である。

三年有澤武貞著。知行當り人馬數、徒以下人夫之圖り、無息人親兄同陣に可出圖り等、戰時の準備に對する私案である。

グンヨウセンコウズカイ 軍容撰功圖解

一冊。有澤武貞の著。戰闘上の儀禮・戰具の配列等を圖解したもので、寶永四年の著である。

グンヨウセンコウズカイ 軍容撰功圖解

一冊。有澤武貞の著。戰闘上の儀禮・戰具の配列等を圖解したもので、寶永四年の著である。

ケイガンジ 桂岩寺 金澤野出寺町に在り、天祥山と號し、曹洞宗に屬する。俗に五百羅漢と呼ぶ。その由來書に『當寺開基寛永十九年僧泰嫡創立仕。元寺地は傳馬町地子地に有之處、享保十四年類燒致し、同十五年石川郡泉野郡地の内へ移轉仕。』とあり、泉野郡地は即ち今の所である。寺藏五百羅漢は天麟の發願で、享保六年三月より檀那に勧進し、二百餘軀を造つたが、文化十一年九月寶圓寺九峰牛が遺志を繼ぎ、文政八年三月に至り五百軀の内食女犯の罪科顯れ、天麟も亦連座し、翌十二年十月六日他の六僧と共に泉野町端刑法場に於いて磔刑に處せられた。依つて後住欄牛が遺志を繼ぎ、文政八年三月に至り五百軀漸く全歸し、十八日から廿八日まで入眼供養を行うたものである。

ケイギセンセイイコウ 姦羅先生遺稿 三卷。大地昌言の五言古詩三百、七言古詩四首、五言律詩百九十二首、五言排律四首、七言律詩九十二首、五言絕句一百二十首、五言絕句二十首、七言絕句百二十首、賦二篇、序六篇、記六篇、論一篇、讚五篇、說一篇、傳一篇、銘二篇、跋五篇、祭文二篇、墓誌一編、書牘五篇を集めたもの。

ケアヒ 毛合 江沼郡湯河に屬する部落。毛合の中に河尻があつたが、大聖寺藩ではそれを一村として取扱うた。次いで明治年中に至つて、更に毛合・河尻を併せて合河とした。

ケイガンエイショウ 桂巖英昌 曹洞宗の僧。近江の人、幼にして佛陀寺の大源宗眞に投じ、大源の寂後徹山旨傳を受けて、次いで承天寺・吉祥寺に住し、晩年徹山の後を受けて大乘寺六代の主となり、又能登の永光寺

四十二代に移つた。慶永十九年七月十九日九十ニ歳で示寂。

ケイガンジ 桂岩寺 金澤野出寺町に在り、天祥山と號し、曹洞宗に屬する。俗に五百羅漢と呼ぶ。その由來書に『當寺開基寛永十九年僧泰嫡創立仕。元寺地は傳馬町地子地に有之處、享保十四年類燒致し、同十五年石川郡泉野郡地の内へ移轉仕。』とあり、泉野郡地は即ち今の所である。寺藏五百羅漢は天麟の發願で、文化六年前後より檀那に勧進し、二百餘軀を造つたが、文化十一年九月寶圓寺九峰牛が遺志を繼ぎ、文政八年三月に至り五百軀漸く全歸し、十八日から廿八日まで入眼供養を行うたものである。

ケイギセンセイイコウ 姦羅先生遺稿 三卷。大地昌言の五言古詩三百、七言古詩四首、五言律詩百九十二首、五言排律四首、七言律詩九十二首、五言絕句一百二十首、五言絕句二十首、七言絕句百二十首、賦二篇、序六篇、記六篇、論一篇、讚五篇、說一篇、傳一篇、銘二篇、跋五篇、祭文二篇、墓誌一編、書牘五篇を集めたもの。

ケイコウイン 桂香院 加賀藩主第四代前田光高の子萬菊丸の法號。詳しくは桂香院轉英宗機童子。

ケイコキブン 稲古記聞 一冊。富永全昌が、前田綱紀の言行に就いて、自ら見聞したこと記したもの。

ケイシュウイン 藥油院 加賀藩主第十三代前田義定の法號。詳しくは薬油院轉

代前田齊泰の側室久世氏の法號。

ケイシュウミチノキ 藤蜘蛛之記 一冊。不破澄明著。廣島侯へ使節として、天明七年十二月廿日金澤を出發し、八年正月十二日着、十六日廣島發、二月四日歸着した紀行で、自作の詩歌など載せてある。

ケイジヨ 圭徐 ↓ダイトウケイジヨ 大透圭徐。

ケイジヨ 慶助 能美郡松岡寺兼立蓮慶の四男。公名刑部卿。享祿四年十一月十八日錯亂に依つて父と與に山内に自害した。時に二十二歳。

ケイズチヨウ 系圖帳 諸士家々の元祖より當主までの系圖を記し、その履歴を載せた帳である。それを集め、苗字の伊波順にしたものは諸士系圖帳というて、藩侯と年寄中の席に備へ付けてあつた。延享四年七月に取立てたのがその濫觴であらう。

ケイセツシヨウキ 鐘雲小記 一冊。村井長道著。聖學の大道たることを旨とし、學問の階梯を和解して、専ら童蒙初學の爲にしたもの。卷首に長街浩齋老人無名父編と載せ、文政庚寅仲秋浩翁と署した自序がある。天保二年五月上梓した。

ケイチヨウカナザハジヨウズ 慶長金澤城圖 もと藩老奥村氏藏、紙幅三六幅と二四幅許。金澤城の最古圖で、三丸・新丸・北丸・玉泉院丸に土第があり、後の金谷御殿の地には南町・堺町が描かれて居る。

付紙に横長知私記とあつて、横山長知の集録したものである。

ケイチヨウカナザハジヨウズ 慶長金澤城圖 もと藩老奥村氏藏、紙幅三六幅と二四幅許。金澤城の最古圖で、三丸・新丸・北丸・玉泉院丸に土第があり、後の金谷御殿の地には南町・堺町が描かれて居る。

ケイチヨウカナザハジヨウズ 慶長金澤城圖 もと藩老奥村氏藏、紙幅三六幅と二四幅許。金澤城の最古圖で、三丸・新丸・北丸・玉泉院丸に土第があり、後の金谷御殿の地には南町・堺町が描かれて居る。